

2020年5月28日

## 1. ホームドア

## ①都内駅におけるホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

## ○現状:

ホームドア整備の状況は、都内全19駅(泉岳寺駅除く)中、2020年3月末時点で3駅(16%)に設置済み。

## ○課題:

ホームドア整備にあたり、事前のホーム補強やホームドア設置による狭隘箇所の解消等、調査や対応に時間が掛かるとともに多額のコストが必要となる。また、ホームドア本体も多額なコストがかかり、維持・メンテナンス等の費用も発生することから、設置する駅について、安全へ対する優先を考え精査する必要がある。当社は、国・地方公共団体・事業者と三位一体で整備を進めるものと考えており、関係者の協力のもと設置を進めていく。

## ○目標・取組の考え方:

駅の利用者数が10万人以上を優先的に整備を実施、10万人未満についても、駅ホームにおけるさらなる安全性の強化を目的に整備を推進。下記以外の未整備駅についても、上記の方針に沿った検討を推進し、進捗に合わせてホームドア整備予定駅を追加していく。

## ②都内駅における各駅の計画

## &lt;優先駅(利用者10万人未満)&gt;

駅名	路線名	事業期間	優先整備の視点		整備状況 (2020年3月末時点)
			駅周辺の特性	駅の特性	
平和島駅	本線	2020～2021年度	福祉・医療、教育施設が集積	優等列車との乗換駅 島式ホーム・ホームが狭隘	未整備
北品川駅	本線	2029年度頃 (連立事業と合わせて実施)	福祉・医療、教育施設が集積		未整備

## &lt;利用者10万人以上駅&gt;

駅名	路線名	事業期間	整備状況 (2020年3月末時点)
品川駅	本線	2029年度頃 (連立事業と合わせて実施)	未整備

